



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月7日

上場会社名 フォースタートアップス株式会社 上場取引所 東
コード番号 7089 URL <https://forstartups.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 志水 雄一郎
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員兼コーポレート本部長 (氏名) 菊池 烈 (MAIL) ir@forstartups.com
配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無：有（当社HPに掲載）
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	2,675	9.5	202	△21.6	199	△25.2	143	△38.9
2024年3月期第3四半期	2,443	10.7	257	△47.1	266	△45.5	235	△31.8

（注）包括利益 2025年3月期第3四半期 125百万円 (20.3%) 2024年3月期第3四半期 104百万円 (△68.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	39.94	39.83
2024年3月期第3四半期	66.26	64.65

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	3,525	2,419	58.6
2024年3月期	3,241	2,545	67.1

（参考）自己資本 2025年3月期第3四半期 2,064百万円 2024年3月期 2,174百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2025年3月期	-	0.00	-	-	-
2025年3月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,700	8.3	370	△12.6	365	△14.8	265	△31.3	74.46

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	3,646,400株	2024年3月期	3,646,400株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	226,891株	2024年3月期	156株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	3,604,336株	2024年3月期3Q	3,556,767株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。また、当社は、2025年2月7日に決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料は、当社ホームページに掲載します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本のスタートアップ企業を取り巻く環境は、国内外の経済動向や政策の影響を受けつつも、成長の可能性を秘めた分野への投資が堅調に行われる状況にありました。特にAI（人工知能）、再生可能エネルギー、バイオテクノロジーといった「ディープテック」領域が注目を集め、これらの分野に取り組む企業への投資が増加傾向にあります。政府は引き続き、スタートアップ支援策の強化を推進しており、「スタートアップ育成5か年計画」の下、資金調達環境の改善や規制緩和の取り組みが進展しております。2024年のスタートアップの資金調達額（速報値、参照：STARTUP DB）は1兆891億円となり、「スタートアップ冬の時代」と言われた2023年の9,847億円から若干持ち直した一方で、世界的な金融市場の不確実性、競争環境の激化や成長の鈍化を懸念する声も聞かれました。

当社グループは、このようなスタートアップ・エコシステムの変化を的確に捉え、成長のポテンシャルを有する企業やベンチャーキャピタルとの連携を通じて、持続可能な成長と新たな事業機会の創出に努めてまいりました。

各セグメント及びサービス別の経営環境及び経営成績は次のとおりであります。

(タレントエージェンシー&オープンイノベーション事業)

当第3四半期累計期間におけるタレントエージェンシーサービスは、スタートアップの資金調達環境の回復を見込み、人材確保及び採用した人材の育成・早期戦力化に注力いたしました。育成の面においては、育成組織の強化やエース社員を管理職に登用し教育意識を高めるなど育成環境の整備に努め、育成対象者の早期戦力化を目指しました。しかしながら、人材確保が例年と比較して順調に進む中で、育成手法の転換が遅れ、一人当たり求職者対応量が減少し、それに伴う育成の長期化やハイパフォーマーへの育成コスト増が発生しました。その結果、人材紹介サービスにおける生産性が想定以上に低下し、特に採用人材の戦力化を見込んでいた11月の人材紹介受注高が大幅未達という形で表面化いたしました。加えて、期初に見込んでいた市況の回復タイミングのズレが生じ、コンサルティングサービスの売上高も想定を下回った結果、タレントエージェンシーサービスの売上高は2,345,066千円（前年同期比10.0%増）となりました。

オープンイノベーションサービスは、当社グループが運営するデータベース「STARTUP DB」の大手企業向け有料会員サービス、官公庁・自治体におけるスタートアップ関連事業を受託して産学官の連携を支援する「Public Affairs」、「日本のスタートアップ・エコシステムをグローバル基準へ」をパーパスに掲げる、「カンファレンス」を展開しております。当第3四半期連結累計期間においては、2024年11月に国内最高峰のグローバルスタートアップカンファレンス「GRIC2024」を開催し、スポンサー収入を計上したほか、「STARTUP DB」、「Public Affairs」ともに前年同期比で堅調な推移を示し、オープンイノベーションサービスの売上高は330,303千円（前年同期比6.4%増）となりました。

また、2024年11月に本社を移転いたしました。本社移転に伴い、什器設備の費用や、新オフィスと前オフィスの家賃の重複支払期間を含む、本社移転に伴う一時的な費用として、137,333千円が前第3四半期連結累計期間から増加しております。

以上の結果、セグメント売上高は2,675,369千円（前年同期比9.5%増）、セグメント利益は208,034千円（前年同期比48.0%減）となりました。

(ベンチャーキャピタル事業)

当セグメントには、子会社であるフォースタートアップスキャピタル合同会社、及び同社を通じて組成したフォースタートアップス1号投資事業有限責任組合が含まれております。ベンチャーキャピタル事業では、当社のタレントエージェンシーサービスの人材支援先に対して、成長産業支援をより強固にするためのスタートアップ投資を行うファンドを運営しております。投資対象は、国内のスタートアップ、ベンチャー企業のうちミドル・レイターステージ及び起業支援案件かつ人材支援取引先となります。

当第3四半期連結累計期間においては、引き続き管理費用のみが発生していることから、セグメント損失は5,960千円（前年同期は142,108千円の損失）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は2,675,369千円（前年同期比9.5%増）、営業利益は202,073千円（前年同期比21.6%減）、経常利益は199,392千円（前年同期比25.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は143,960千円（前年同期比38.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)	対前期増減
資産(※1)	3,241,463	3,525,306	283,842
負債(※2)	696,198	1,105,637	409,438
(うち、有利子負債)	—	541,500	541,500
純資産(※3)	2,545,264	2,419,669	△125,595

主な対前期増減の内容

- (※1) 有形固定資産(292,448千円)、
- (※2) 1年内返済予定の長期借入金(114,000千円)、未払法人税等(△112,137千円)、
本社移転損失引当金(△31,085千円)、長期借入金(427,500千円)
- (※3) 利益剰余金(143,960千円)、自己株式(△253,534千円)、非支配株主持分(△18,589千円)

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年5月9日付で公表した予想数値を修正しております。詳細につきましては、本日(2025年2月7日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,655,674	1,739,095
売掛金	512,905	292,490
営業投資有価証券	378,171	378,171
前払費用	34,370	48,623
未収還付法人税等	—	60,527
その他	2,969	34,816
貸倒引当金	△1,989	△802
流動資産合計	2,582,102	2,552,923
固定資産		
有形固定資産	67,953	360,402
無形固定資産	13	3
投資その他の資産		
敷金及び保証金	423,272	451,855
その他	172,136	164,137
貸倒引当金	△4,015	△4,015
投資その他の資産合計	591,393	611,977
固定資産合計	659,361	972,383
資産合計	3,241,463	3,525,306
負債の部		
流動負債		
未払金	235,353	193,299
1年内返済予定の長期借入金	—	114,000
未払法人税等	114,368	2,231
未払消費税等	58,320	3,738
賞与引当金	127,828	61,076
本社移転損失引当金	31,085	—
その他	129,243	303,791
流動負債合計	696,198	678,137
固定負債		
長期借入金	—	427,500
固定負債合計	—	427,500
負債合計	696,198	1,105,637
純資産の部		
株主資本		
資本金	238,259	238,259
資本剰余金	238,577	238,577
利益剰余金	1,697,752	1,841,712
自己株式	△540	△254,075
株主資本合計	2,174,048	2,064,473
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	692	492
その他の包括利益累計額合計	692	492
新株予約権	32,378	35,147
非支配株主持分	338,145	319,556
純資産合計	2,545,264	2,419,669
負債純資産合計	3,241,463	3,525,306

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	2,443,246	2,675,369
売上原価	525,085	450,498
売上総利益	1,918,160	2,224,871
販売費及び一般管理費	1,660,365	2,022,798
営業利益	257,794	202,073
営業外収益		
受取利息	6	212
投資事業組合運用益	6,117	—
投資有価証券売却益	429	—
業務受託料	980	845
雑収入	1,525	3,034
営業外収益合計	9,059	4,092
営業外費用		
支払利息	169	2,490
投資事業組合運用損	—	2,201
自己株式取得費用	—	2,016
その他	189	63
営業外費用合計	358	6,772
経常利益	266,495	199,392
特別損失		
本社移転損失引当金繰入額	31,085	—
固定資産除却損	—	8,549
特別損失合計	31,085	8,549
税金等調整前四半期純利益	235,410	190,843
法人税、住民税及び事業税	108,158	30,100
法人税等調整額	20,670	35,372
法人税等合計	128,828	65,473
四半期純利益	106,581	125,370
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△129,087	△18,589
親会社株主に帰属する四半期純利益	235,668	143,960

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	106,581	125,370
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,536	△199
その他の包括利益合計	△2,536	△199
四半期包括利益	104,045	125,170
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	233,132	143,760
非支配株主に係る四半期包括利益	△129,087	△18,589

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	26,549千円	66,083千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			四半期連結 損益計算書 計上額
	タレントエージェ ンシー& オープンイノベー ション事業	ベンチャー キャピタル事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	2,443,246	—	2,443,246	2,443,246
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	2,443,246	—	2,443,246	2,443,246
セグメント利益又は損失(△)	399,903	△142,108	257,794	257,794

(注) 1. 報告セグメントの利益又は損失は、営業利益ベースの数値であります。

2. 2023年7月19日付で新規設立し連結子会社としたシングレス株式会社は、「タレントエージェンシー&オープンイノベーション事業」に含めております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			四半期連結 損益計算書 計上額
	タレントエージェ ンシー& オープンイノベー ション事業	ベンチャー キャピタル事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	2,675,369	—	2,675,369	2,675,369
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	2,675,369	—	2,675,369	2,675,369
セグメント利益又は損失(△)	208,034	△5,960	202,073	202,073

(注) 報告セグメントの利益又は損失は、営業利益ベースの数値であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。